















どっきりでしょ?

ってそんなこと

ij

ある訳ないじゃん

気づいてますよ私



私はツツジの精の





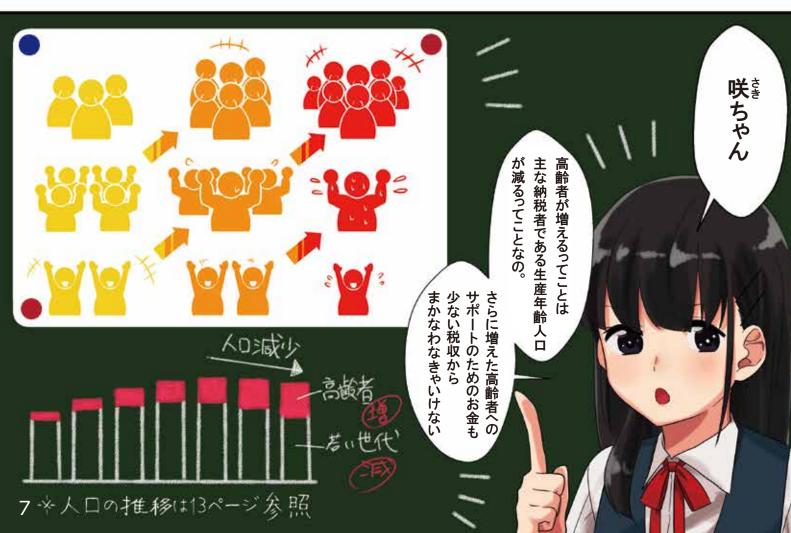






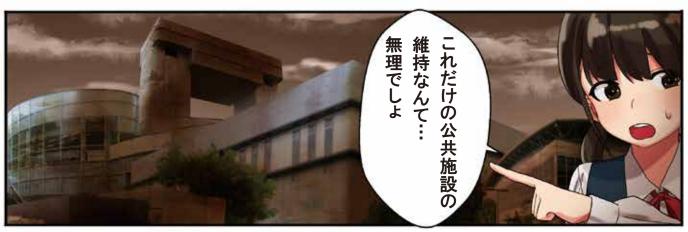












※主な公共施設の一覧は14ページ参照





















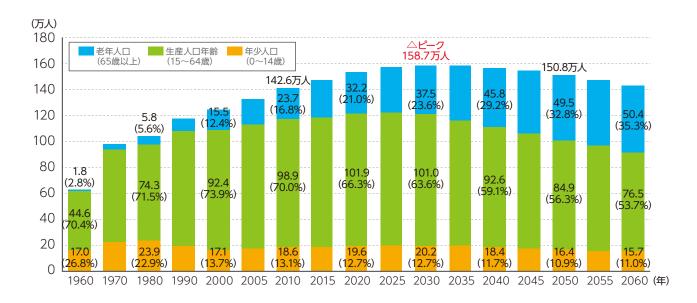
※公共施設の築年数の詳細は13ページ参照





川崎市の人口の推移

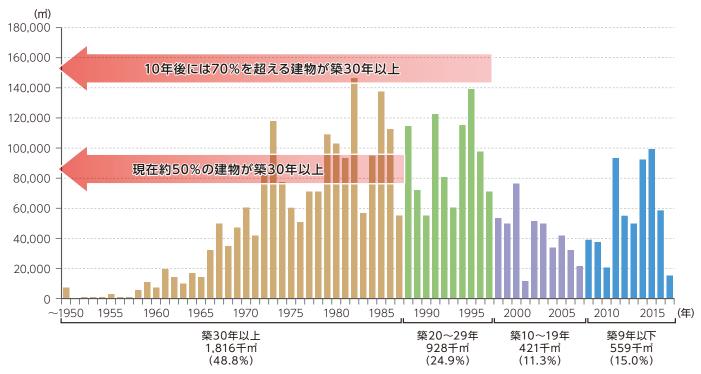
川崎市の人口は平成 29 (2017) 年に 150 万人を突破し、想定を上回るペースで増加しています。 しかし、2030 年をピークに減少への転換が予想されており、特に老年人口は増加を続け、2020 年には超高齢社会が到来することが想定されています。



公共施設の建築年別床面積

川崎市の公共施設は、平成29(2017)年現在、約50%の建物が築30年以上となり、さらに10年後には70%を超える建物が築30年以上となります。

今後、老朽化した施設を維持・更新していくための財政負担の増大・集中が予想されます。



平成29(2017)年3月31日現在

川崎市の主な公共施設一覧

川崎市が管理する公共施設のうち、市民のみなさまの身近な施設を示しています。 今後は、人口構成や利用率など、施設状況の変化に対応した資産マネジメントの取組を進める必要があります。

	分類	施設	施設数								
大分類			川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計	延床面積(㎡)
	区役所	各区役所	1	1	1	1	1	1	1	7	67,269
行政施設	支所・出張所	各区役所支所 各出張所	2	1	0	1	1	1	1	7	11,757
学校施設	小学校	各小学校	20	13		14				111	797,397
	中学校その他学校施設	各中学校 各高等学校 各各合学校※1 各特別支援学校 看護短期大学	3	3	2	3	0	1	1	13	405,764 216,363
社会教育施設	市民館・図書館	各市民館(各分館) 各図書館(各分館) 教育文化会館	4	2	2	3	2	2	3	18	70,666
	体育施設	各スポーツセンター かわさき健康づくりセンター 石川記念武道館 河原町グラウンド・体育館 とどろきアリーナ	1	3	1	1	1	1	1	9	48,407
	プール	ヨネッティ堤根温水プール 大師プール 入江崎宗熱利用プール 小倉西児童プール 等々力プール 平間児童プール 川崎市民プラザ温水プール 稲田児童プール 多摩スポーツセンター ヨネッティ王禅寺温水プール	3	1	2	1	0	2	1	10	— * 2
	青少年施設	川崎子ども夢パーク 青少年の家 黒川青少年野外活動センター 八ヶ岳少年自然の家※3	0	0	0	1	1	0	1	3	17,347
	博物館	エコ幕の 大級 大阪	3	1	2	2	0	5	0	13	46,630
	公会堂・市民会館	港湾振興会館(川崎マリエン) 労働会館(サンピアンかわさき) 能楽堂 ミューザ川崎シンフォニーホール ラゾーナ川崎 産業振興会館 生涯学習プラザ 国際交流セウター エポック会館(てくのかわさき) 男女共同参画センター(すくらむ 21) 川崎市民野川生涯学習支援施設(アリーノ) アートセンター	3	3	3	3	1	0	1	14	94,371
児童関連施設	こども文化センター	各こども文化センター	10	6	9	7	8	7	10	57	20,588
	わくわくプラザ	各わくわくプラザ※4	12	7	16	11	8	12	7	73	15,636
	保育所	各保育所	5	8	10	7	8	5	5	48	27,027
高齢者関連施設	老人いこいの家	各老人いこいの家	9	6	5	7	5	7	7	46	16,819
	老人福祉センター	各老人福祉センター 各特別養護老人ホーム	1	1	1	1	1	1	1	7	10,334
	老人ホーム	恵楽園 高齢社会福祉総合センター	0	1	3	2	0	3	0	9	36,836
障害者関連施設	障害者支援施設	各わーくす 各身体障害者福祉会館 各リハビリテーションセンター 等	6	1	7	7	1	2	4	28	40,351
住宅施設	市営住宅	各市営住宅	14	23	7	25	15	9	2	95	1,102,744 ** 5

平成 29 (2017) 年 3 月 31 日現在

^{※1} はるひ野小学校・中学校、子母口小学校・東橘中学校、川崎中学校・高等学校は複合学校に含む。 ※2 屋外施設を含むため面積は未計上 ※3 市外のため施設数には未計上 ※4 施設数、延床面積は小学校校舎内設置施設を除く。 ※5 借上げ施設の面積は除く。

このマンガは川崎市立川崎総合科学高等学校デザイン科 大山みのりさんが作成しました。/



今回漫画を描くにあたって今まで知らなかったこと、 目をそらしていた問題に向き合うことができました。 漫画を読んでくださった方にも、

そういう気持ちになって頂けたら嬉しいです。

大山さんをはじめ、先生方の御協力に感謝いたします。

川崎市は行政施設・学校施設・社会教育施設などの建築物や、道路・橋りょう・水道など市民 生活を支えるためのさまざまな公共施設を保有しています。

今後、こうした公共施設の老朽化が進むだけでなく、本格的な少子高齢化の到来が予想されており、すべての施設を現状のまま維持していくことが難しくなるため、廃止や複合化等を含めた施設のあり方の検討が必要となってきます。

多くの市民のみなさまとこうした問題を共有するために、このマンガを川崎総合科学高等学校と協働のもと作成しました。今後はこうした問題について、広く発信していくとともに、解決方法を考えていくための市民が参加できるワークショップ等を行っていくことを検討しています。

川崎市民みんなで公共施設の未来を考えていきましょう。



現在、川崎市の資産マネジメントは「かわさき資産マネジメントカルテ」に基づき、3つの戦略で取り組んでいます。

戦略1 施設の長寿命化 目標 全ての施設について長寿命化に 配慮した取組を実施 戦略2 資産保有の最適化 目標 将来の財政状況等を見据えた 建築物総量の管理

戦略3 財産の有効活用 目標 ^{多様な効果創出に向けた} 財産有効活用の取組拡大

詳しくは

川崎市 資産マネジメント 取組



Colors, Future!

川崎市

みんなで考えよう!公共施設の未来 平成30年3月

発行 川崎市財政局資産管理部資産運用課

電話 044-200-2851 FAX 044-200-3905

email 23sisan@city.kawasaki.jp